



『全国のフェンシング部・フェンシングクラブの紹介』

「大分県立別府翔青高等学校／ジュニア・フェンシング・OITA」

皆様、フェンシングの練習はいつもどこでやっていますか？高校や大学の部活、地域のクラブ、時にはフェンシング仲間場所で借りて練習したり。色々な環境で練習をしていると思いますが、フェンシングを「もっと強くなりたい」「もっと楽しみたい」って想いは、皆同じだと思います。

<フェンシングレター>はその数あるクラブの中で、盛り上がっているフェンシング部やクラブチームを紹介します。第1回目は、大分県にある「大分県立別府翔青高等学校」と「ジュニア・フェンシング・OITA」。

大分県立別府翔青高等学校は、創立3年目にしてなんとインターハイ2連覇、全国選抜優勝など、素晴らしい成績を残しています。まずはその成績を見てください。素晴らしいですね。

主な戦績

平成 27 年度全国高等学校総合体育大会	男子フルーレ団体戦	3 位	
全国高等学校選抜大会	男子フルーレ団体戦	2 位	
平成 28 年度全国高等学校総合体育大会	男子フルーレ団体戦	優勝	
全国高等学校選抜大会	男子フルーレ団体戦	優勝	
平成 29 年度全国高等学校総合体育大会	男子フルーレ団体戦	優勝／男子・女子フルーレ個人戦	優勝



(大分県別府翔青高校フェンシング部監督 渡部達郎氏)

ニューカマーの彼らが全国の頂点に立つことが出来た理由はどこにあるのか。勿論、選手一人一人の才能と努力は欠かせませんが、その彼ら潜在能力を大きく開花させた監督の存在が大きいようです。現役時代（2000年～2008年）、男子サーブルナショナルチームとして活躍された渡部監督に話を伺いました。

一部員の人数を教えてください。

3月に卒業する3年生を入れて14名です。

一コーチの人数は？

コーチは2名、その他トレーナーが2名です。

一活動頻度は？

週6日やっています。休みは水曜日のたった一日だけです。

一どのような練習をやっていますか？

基本、レッスン、フットワーク、フィジカルトレーニングをやっています。

一選手強化に力を入れていることは何ですか？

フィジカルの強化です。競技力を高めるにはフィジカルはとても重要だと思います。

一特に力を入れられているというフィジカルトレーニング、具体的に教えてください。

専属トレーナー考案の体幹トレーニングや基礎体力の向上、ウェイトアップなどですね。

一わずか創立3年目にして全国優勝（連覇）していますが、その理由は何だと思いませんか？

対戦相手チームの分析を徹底的に行い、2年生の時に優勝してから3年生になるまでにフェンシングスタイルを変更したことだと思います。

一今後の目標を教えてください。

優勝メンバーだった3年生が卒業しますが、新チームになっても常に全国の頂点を目指します！



(大分県別府翔青高校フェンシング部のエース 上野優斗)

特筆すべきはそのテクニックとパワー。渡部監督が鍛え上げた上野選手は今年3月に高校を卒業し、4月から大学でトレーニングをする予定。オリンピックでメダルが狙える選手として、早くも注目を集めています。

上野選手のコメント：部員とは小学4年生の頃からの仲で、お互いのことを知り尽くしており、たくさんのかんことを支えあってきました。離れ離れになるのは寂しいです。そして、渡部監督には大変お世話になりました。自分のフェンシングの基礎は渡部監督の指導によるもので、監督には自分がこれまで持っていなかった技術をたくさん教えて頂きました。今後は大学という新しい環境で自分を磨き、オリンピックでメダルを取ることがを目標に頑張っていきたいと思います。



(ジュニア・フェンシング・OITA で練習している子供たち)

続いては、ジュニア・フェンシング・OITA。こちらは大分県大分市青葉町の大分県立総合体育館で練習しているクラブチーム。小・中学生を中心に、将来、オリンピックに出場する様な強いフェンサーになることが、彼らの目標です。そして、先に紹介した大分県立別府翔青高等学校の主力メンバーもこちらのクラブチームを卒業生なんですよ。

主な戦績

平成 26 年度全国中学生大会団体戦優勝

第 2 回全国中学生フェンシング選手権大会 団体戦 3 位



(代表の村上幸生氏と監修教則ビデオ『指導者のための指導方法（フルーレ・初級編）ビデオ』)

活気あるこのクラブを運営しているのは、日本フェンシング協会ミニム部会作成の『指導者のための指導方法（フルーレ・初級編）ビデオ』を監修した実績を持つ村上氏。子供達に対しての独自の指導力には全国から高い評価を受けています。

―クラブの創立年を教えてください。

平成10年に大分コンパルクラブとして創立しました。その後ジュニア・フェンシング・OITAに名称変更しました。

―クラブ会員数を教えてください。

小学生、中学生の計14名です。

―コーチの人数は？

3名です。

―練習している種目は？

フルーレをやっています。

―活動頻度は？

週4日やっています。

―どのような練習をやっていますか？

ウォーミングアップ、体操、フットワーク、レッスン、ファイティングをやっています。

―選手強化に力を入れていることは何ですか？

基本動作をしっかりと身につけさせる。そして、自分の頭で考え、行動できる選手に育てることを意識していますね。

―今後の目標を教えてください。

本クラブからオリンピック選手を輩出することです！

―オリンピックに出場できそうな選手はいますか？

このクラブを卒業した男子フルーレの大石利樹選手です。現在、ワールドカップ等に出場して頑張っていますよね。

一指導の中で特に意識していることは？

フェンシングを楽しく学ばせるために練習内容を工夫しています。

一具体的にどのような工夫を？

絶えずアップやレクリエーションを行っています。フェンシングの練習で大切なフットワークについてはマンネリ化しないように定期的に内容を変えています。また、コーディネート的なフットワークを取り入れ、間違えた子供を指摘するのではなく、出来ている子を褒めて全体の競争意識を煽っています。